

2011年
12月
第5号

ノオト

ノオトはNPO法人アスイクが発行するニュースレターです。
発行 NPO法人アスイク
TEL 022-781-5576
URL <http://asuiku.sendai-net.com/>
Email asuiku0328@gmail.com
住所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5丁目
3-21コーポ小松 101

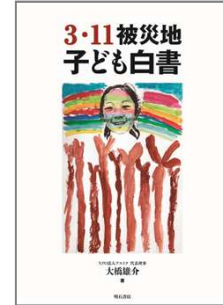
被災した子どもたちへの関心を失ってはならない 「3・11被災地子ども白書」出版

トピック

この度、明石書店より「3・11被災地子ども白書」を刊行しましたので、ご報告させていただきます。

本書は、被災されたご家庭の保護者や子どもへのインタビュー調査を元に執筆しており、今後数年間にわたって支援が必要とされる被災地への関心を持続させること、被災した子どもや保護者にとって本当に必要な支援を考え、行動するきっかけを提供すること、そして同じような震災に対する記録・教訓的な資料とすることを目的としたものです。

本書の完成にお力添えくださった関係者の皆さま、インタビューに快くご協力いただいた保護者の皆様、子どもたちに、心より御礼申し上げます。



本書の刊行は終点ではなく、始まりに過ぎません。この本をどう活用し、日本中、あるいは世界の力をどう今回の復興に引き寄せるかが肝心だと考えております。

そのための取り組みの一環として、2012年1月11日（水）には、東京にてシンポジウムを開催します。国立社会保障・人口問題研究所の阿部彩氏をはじめ、被災した子どもの支援活動を行ってきた社会起業家を登壇者に迎えて、被災した子どもの現状とこれから必要となる取り組みについて考える場をつくりたい。こちらのシンポジウムへのご参加もお待ちしております。詳細は、当団体のホームページをご覧くださいませ幸いです。

(NPO法人アスイク 代表理事 大橋雄介)

活動報告

コーチング専門家に学ぶ！ 子どもの主体性を引き出すコミュニケーション力

11月27日（日）に、学習サポーターを対象とした第3回目の研修を開催しました。

今回のテーマは、コーチングの技術を生かした学習サポートのレベルアップ。研修講師は、コーチングの専門家、アスイクの正会員でもある有限会社アライブワンの代表取締役後藤美香さんです。

子どもたちに安心感を与える場づくりの方法、相手に前向きな意欲をもってもらうための質問方法などを、ワークショップを中心にみんなで学習。参加した学習サポーターからは「無意識にしていたことが、こんなに相手に影響していると思わなかった」、「子どもにやる気を出させる、具体的な声のかけ方が知れたので、早く活動に活かしたい」などの声が上がりました。



『19 Money』プロジェクト@宮城野ウォークラリー

自ら手を挙げて働いたことに対して、学習支援センター内で利用可能な仮想通貨を獲得できる『19 Money』プロジェクトが発足し、12月17日（土）に記念すべき第一回目の活動が『宮城野ウォークラリー』を舞台に行われました。

参加した中学生たちには、小学校低学年のベビーシッター、風船の配布、抽選の手伝いなどの仕事が与えられました。「ウォークラリーがんばってね」と頭をなでたり、「どの色の風船がいい？」と聞いたり、子どもたちがどうしたら喜んでくれるかを考え、奮闘する中学生たち。最終的にイベントの参加者は100名以上にのぼり、大成功となりました。今回参加してくれた子どもたちには「19 Money 1000援」を贈呈。

みなさん、お疲れ様でした!!



サポーター紹介

鶴巻一丁目東公園と『19 Tsutsujigaoka』で活動しております林屋陽一郎と申します。

—この活動に参加したきっかけは？

東北大学法科大学院の仲間たちと『Tohoku Law Net（東北ローネット）』というボランティアサークルを立ち上げて、提携できそうな団体を探していたところ、アスイクに出会いました。

—大学ではどういったことを学んでいたのですか？

司法試験に向けて勉強しています。アスイクでの活動を通して、将来は復興に関わる法律問題のお手伝いができるようになるようになりました。

—アスイクでの活動は、林屋さんにとってどういうものですか？

子どもたちに関わるのが純粋に楽しいですし、学習サポーターの仲間たちと活動を通して出会えたのも良かったです。アスイクはまだできたばかりの団体なので、みんなで活動をイチから創っていくのもやりがいを感じます。



—最後に保護者の方へ一言お願いします。

学習サポーター一同、子どもたちのことを思って活動しています。よりよい活動にするために、「もっとこうしてほしい」など遠慮なくサポーターにおっしゃっていただければと思いますので、これからもよろしく願いいたします。

(1985年生まれ、仙台市出身。東北大学法科大学院卒)

『19 Tsutsujigaoka』で活動しております藤美咲と申します。

—この活動に参加したきっかけは？

身近で困っている子どもがいるのだったら、自分も一緒に子どもが抱えている困難に向き合いたいと思い、子どもを対象にしたボランティアを探していたところ、アスイクに出会いました。

—お仕事は何をされているのですか？

仙台市内の幼稚園で先生をしています。

—アスイクでの活動は、藤さんにとってどういうものですか？

子どもたちが「わかった!」と言ってくれる瞬間もうれしいですし、それ以外の会話でもよこびや楽しさを子どもたちと一緒に感じることができて、活動のたびに元気をもらっています。幼稚園では『先生』として子どもたちに接していますが、アスイクでは素のままの自分で子どもたちと対等な立場で関われるのも新鮮で楽しいです。



—最後に保護者の方へ一言お願いします。

子どもたちの勉強だけでなく、日々の成長のお助けができればと思っていますので、これからもよろしく願いいたします。

(1988年生まれ、岩手県出身。仙台市内幼稚園教諭)

みみより情報

井上きみどりさんの最新作、『ハート再生ワーカーズ』刊行



累計100万部を超えるベストセラーコミック「子供なんか大キライ!」などの作者、井上きみどりさん。仙台市在住の井上さんは、ふとしたご縁でアスイクの正会員にもなっています。

この11月に、井上さんが震災後に活動したNPOなどを取材したドキュメンタリー漫画『ハート再生ワーカーズ』が刊行されました。アスイクの活動も漫画になっ

て、わかりやすく、それでいて詳しく紹介されています。

この漫画は、井上さんご自身も自問自答を繰り返しながら完成した魂のこもった一冊です。ぜひ、ご購入ください。

